

未来の仕事のための持続可能なオフィス変革

シンガポールオフィス統合プロジェクトは、伝統的な 10 つのオフィスを 3 つのモダンで協力的なスペースに変革しました。

クラウドファーストテクノロジーを採用することで、データセンターの Azure クラウドへの移行と効率的な IT 資産管理を通じて、30%のコスト削減と年間 100 万 kWh 以上のエネルギー削減を実現しました。

また、会議スペース、健康モニタリング、持続可能性を向上させ、職場満足度評価が 76%に向上しました。

私たちは一緒にいる時が一番うまくいくと思います。

Jaselle Yeo (ビジネス・アナリスト) :優れた頭脳は共に考え、素晴らしいアイデアを生み出します。

- 私たちは一晩でコロナ禍に入り、すぐにリモートワークに入りました。
- 共同作業、同僚と過ごした時間が懐かしい。

Janna Ybanez (シニア人材獲得アナリスト):人間的な触れ合いが重要だと思います。自宅は限られたスペースです。部屋の四隅を見ながら仕事をするのはあまりいいことではありません。良い職場の方がまだ良いです。

Johan G van Vuuren (人事担当上級副社長 (アジア太平洋地域)):

私たちの物理的環境は非常に重要な役割を果たしています。彼らが集まることができるオフィス空間は、私たちが誰であるか、私たちが何のために立っているか、私たちがどのように働くかについて、非常に重要な象徴的役割を果たしています。

Pascal Weiss (IT 情報システム (アジア太平洋地域) 、I&T デジタルトランスフォーメーション担当副社長)

私たちは今、シフトという観点から、人々がより高い目的を持つためにオフィスに来る必要があることを実感しています。

テクノロジーは、私たちがどのように空間を体験するかを構築することができるのだろうか？

- この新しい職場では、実際に多くの機会が開かれています。
- 職場はリラックスしていて、雰囲気がとても良いです。

Janna: だから、ここでは、自分がより評価されているような感じがします。

Johan: 複数のオフィス、10 のオフィス、複数の会社があり、統合する必要がありました。

コロナは、私たちが必要としているのは別物だということを明確にしてくれました。

だから、この 2 つを組み合わせると、新しいデザインになりました。

また、テクノロジー企業としてワークプレイスを実現するという意味では、信じられないほど幸運でした。

クライアントをつながる未来へ導くテクノロジーカンパニーとして、社内の専門知識を活用して従業員のエクスペリエンスを向上させました。

当社のフラッグシップのアペイラオフィスは、当社のビジョンを具現化し、生産性と協力を促進してクライアントにより良いサービスを提供しています。

また、セキュリティモデルのゼロ信頼性、IT オペレーションの集約、および自動化を導入して、安全かつインテリジェントな職場を作り上げました。

Pascal:クラウドネットワークとゼロトラストセキュリティは、クライアント、従業員、パートナーを 1 つの場所で接続するのに役立ちます。このテクノロジーは、エコシステムが連携して一元管理できるようにします。

これは全く新しい技術であり、オフィス内の移動、キャパシティ、会議の予約、スペース設備管理などを理解してもらう方法などの追加機能です。これらすべてのデータポイントを含むデータの中央プールを持つことは、可視性と管理を強化し、消費の利用状況と削減の推進方法を確認できる、より持続可能な職場に移行するのに役立ちます。

Janna: 私が気づいたことの一つはイノベーションです。「よし、Webex で会議を始めよう」。

Janna: オフィスに戻れば、また違った経験ができるかもしれない。自宅にいるような気分で、何でも手に取るようにわかるし、とても良い雰囲気なので、生産性も上がると思います。

Jaselle: 電話ボックス、会議室、共有スペースなど、多くのコラボレーションエリアがありますし、もし静かな時間が必要な場合や、クライアントとミーティングをする必要がある場合は、いつでもミーティングルームに行くことができます。

Johan: 私はコラボレーションの物理的な現れを目の当たりにしてきました。また、私たちが持っているものを信じられないほど誇りに思っている人たちを見てきました。私は祝賀会がひとつになるのを目の当たりにしてきましたみんな笑顔で会社に戻ってきます。

持続可能性の目標に向けて。

Siri（アジア太平洋地域の持続可能性ディレクター：10 事業所を 3 事業所に集約することで、持続可能な環境負荷を戦略的に最小化しました。家具のリユースと廃棄物の削減を優先しました。ダイバーシティとインクルージョンへの取り組みは、包括的で公平な職場文化を育むオフィスデザインにも表れています。

新しいオフィスの移転により、e- ウェイストの廃棄物処理、機器の移動、および廃止によるかなりのコスト削減が実現しました。

さらに、ISDN 回線の統合と通話ワークロードの Microsoft Teams への移行により、月額運用支出が 40%削減されました。

レガシーサーバーをクラウドに移行することで、コストが 30%削減しました。

また、私たちの取り組みは、公益事業の消費量を 30%削減し、1,000,000 キロワット時/年を節約しました。また、NTT のゼロ・トゥ・ランドフィル政策と調和しながら、IT 資産の責任ある廃棄物処理を確保しました。"

私たちはテクノロジーを駆使して未来のワークスペースを創造すると同時に、サステナビリティの目標も達成しています。

Pascal: 私たちはこの分野の先駆者です。

Johan: ここで作ったものが基準になっていることは間違いありません。私たちはハイブリッド・ワークを機能させ、実現可能なことを実際に示しています。

Siri: 困難に直面しながらも、私たちは職場をイノベーションの拠点に変え、より持続可能な職場を実現し、従業員の安全を守り、すべての人の明るい未来を育んできました。